

川崎町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

本町では、地域全体で子どもを育むために、家庭・学校・地域をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上を図り、協働教育を一層充実させることを目的に「かわさきっ子応援団」を組織し活動しています。

今年度も家庭教育支援、地域活動支援、学校教育支援の3つの活動を軸に、豊かな自然環境を活かした地域の特色ある協働教育活動を展開しました。

2 地域学校協働本部について

※地域学校協働本部は未設置

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育サポートチームの設置	町内の子育てサポーターとの定期的な情報交換を行い、子育てサポート状況を把握・推進する。	幼児教育課・子育て支援センター職員と連携 各種講座・研修会へ参加
「おひさまカフェ」(子育てカフェ)の開催	子育て中のママと子ども達に、子育てサポーターが体験活動を通じた親と子のふれあいの場を提供する。子育てに関する不安を和らげ、親の育ちのきっかけづくりを行う。	公民館講座として開催 子育てサポーター6名 年2回開催
家庭教育学級 幼児教育学級	学校・PTAが主催する家庭教育・幼児教育講座の支援。	研修会、講演会等の講師に支払う講師謝金の補助
スポーツ少年団交流会	スポーツ少年団の団員交流会を通して、子供たちだけではなく、指導者・母集団同士の連帯意識を強める。	スポーツ少年団体：6団体
親子バレーボール大会	バレーボールを通して親と子の対話を深め、友情や連帯感等の社会性を身に付け、体力の向上を図る。	低学年・小学生の大会を年2回開催 ボールは家庭バレーボールを使用



子育てサポーター活動



スポーツ少年団交流会



親子バレーボール大会

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
教育講演会の開催	夢の実現に向けて、確かな学力と生きる力の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・志教育講演会 ・学びの支援講演会 	児童生徒及び保護者対象
地域資源を活用したプログラム	豊かな自然環境の中での体験活動を通じた郷土愛の育成を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生サマーキャンプ ・6学年親子キャンプ ・カヌー&SUP体験 	
世代間・異年齢交流	子どもから大人まで年齢を問わない相互の交流・親睦を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・かわさき朗読会 ・川崎レイクサイドマラソン (運営ボランティア活動) ・中学生保育実習 ・幼高さつまいも苗植え交流 	
ジュニア・リーダー事業	ジュニア・リーダーとしての資質の向上 (中学生・高校生対象) <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 ・管内交流研修会等への参加 ・地域活動への参画 ・自主企画行事の計画・運営等 	川崎町ジュニア・リーダー サークル P・T・E 会員数：高校生19名 中学生 8名 (令和4年1月現在)



マラソン大会ボランティア



J・L移動研修会



J・Lハロウィンパーティー



J・L初級研修会



J・Lクリスマス会



J・Lの地域活動

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
本の読み聞かせ	児童への本の読み聞かせ ・ボランティアの活動 ・サークル「絵本ママ」活動	各小学校, こども園等 朝の学活の時間帯実施
校外学習活動	校外における学習活動への支援 ・役場見学(議会体験) ・町探検学習 ・清掃活動(ゴミ, 空き缶回収) ・そば打ち交流会 ・社会見学等補助 ・スキー・そり教室支援 ・収穫祭(地域交流) ・史跡案内(山城見学・土器拾い)	地域ボランティアによる活動支援 ・かわさきこども園 ・富岡幼稚園 ・川崎小学校 ・川崎第二小学校 ・富岡小学校 ・川崎中学校 ・富岡中学校
学習活動支援	学習活動への支援 ・戦争体験講話 ・部活動講師派遣 ・昔あそび, しめ縄づくり ・農業体験学習支援 ・地域学習支援 ・防災教育支援	地域ボランティアによる活動支援 こども園, 幼稚園 小・中学校 放課後児童教室
セカンド・スクール事業	町内の施設が第2の学校, 家庭の機能を果たしながら, 子供たちが自然の中で様々な体験活動を行う長期集団宿泊事業 ・野外活動支援 ・レクリエーション指導 ・自然体験活動等	町内小学5年生を対象に実施 学校・家庭・大学・行政が一体となり事業を実施
水辺の安全教室 (水の事故ゼロ運動)	水辺における水難事故を自ら防ぐ学習活動と海洋性スポーツの楽しさの普及 ・紙芝居による解りやすい説明 ・着衣泳, ペットボトル浮遊 ・カヌー試乗体験	B & G 海洋センター職員が中心となった指導者会が講師として活動
伝承芸能指導	地域に伝わる伝統芸能の伝承を図るため, 子ども達の興味・関心を促し, 将来の担い手につなげる活動の推進 ・支倉豊年踊り練習 ・川内太鼓練習 ・その他伝承伝統芸能	地域住民による伝承芸能の指導



防災教育（避難所運営体験）



施設見学（議会体験）



史跡案内支援（前川本城跡地）



農業体験学習支援



不審者対策訓練



スキー教室支援



地域学習活動支援（土器拾い）



セカンドスクール支援



水辺の安全教室（カヌー）

4 成果と課題

- 学校地域連携担当者との連絡体制の整備（連絡会議の定期的な開催）。
- 学校現場との情報交換を行い、授業づくりに役立つ支援対応を確立する。
- ボランティア登録者の活躍の場を拡大する。
- ボランティアの活動の場を「学校」のほかに、地域へと広げていく。
- ボランティア活動が「地域貢献」、「生きがい」、「人と人のつながり」、「町づくり」へとつなげていくこと。
- 町独自の視点で、協働教育を推進するための体制整備を図る。

■ボランティア登録者（令和4年1月現在）

個人	260名
団体	97名（8団体）
合計	357名

川崎町立川崎小学校

〒989-1501 仙台市川崎町大字川崎山田5-1
 電話 0224-84-2004
 FAX番号 0224-84-4352

児童数 205名
 P.会員数 164名

【食に関する指導】

栄養教諭や管理栄養士の先生から栄養学や食の摂り方について学びました。

【川川の伝統の継承】

地域の先生から学び「川川太鼓」「腰鼓舞踊」を学習発表会や地域の集りで披露しています。

【スキー教室】

地域の方々を講師にスキー教室を行い、川崎町の大自然の魅力を満喫しています。

【サツマイモの栽培】

農業技術指導員の方から指導していただき、サツマイモの栽培を行いました。収穫の喜びを味わいました。

川崎町立川崎第二小学校

協働で共に歩む学校

児童数 44名 P.会員数 30名
 〒989-1602 宮城県栗原郡川崎町大字今宮字御所1
 電話 0224-84-2054 FAX 0224-85-1415

水辺の学習

学校のそばの北川で、自然に親しむと共に、安全についての学習

特産品の栽培

地域の特産品である「そば」を、種から育てる栽培活動

しなご音頭

地区・PTA 合同運動会で地域に伝わるふるさとの唄りを披露

教育を語る会

「川崎町のよいところ」を、地域の方にインタビュー

川崎町立富岡小学校

〒989-1507
 宮城県栗原郡川崎町大字支倉字川向49-5
 電話 0224(86)2003
 FAX 0224(82)8010
 児童数：63名 P.会員：48名

地域と連携した教育活動

家庭・地域・学校が目的を共有し、信頼関係のもとそれぞれの役割を担う協働教育

各学年の授業

防災教育や運動大会体験、組の整備など、各学年の授業でそれぞれ地域の方から教えていただき、充実した学習活動を展開しています。

支倉豊年踊り

支倉豊年踊り保存会の皆様に「支倉豊年踊り」を教えていただき、本校運動会や地域の「支倉まつり」で披露しています。

幼・保・小交流

幼稚園・保育園との交流により、園児の小学校へのスムーズな移行と、小学生のやさしい気持ちを育みます。

川崎町立川崎中学校

全校生徒数：157名 年61名、3年53名
 〒989-1601 仙台市川崎町大字川崎山田12
 電話 0224(85)1388
 FAX (0224) 85-1395
 Email: kawasaki-jhs@emile.com.np
 HP: http://www.kawasaki-jh.sakura.ne.jp

社会に貢献する生徒の育成を目指して

スノーバスケーズ (サブカルチャー)

冬に一人暮らしの高校生等を助ける「ボランティヤ」活動として行っています。地域に貢献したいという生徒や福祉の仕事をしたいという学が活動しています。

職業学習 (2年・家庭科)

履修する子どもも園において、保育実習をしています。地域の子ども達と目撃し、体験し、学びを深めています。

職業学習 (2年・数学科)

J.川崎青年部や女性部の方々などのご指導のもと、田んぼや畑で野菜を育て、収穫体験を通して、農業の大切さを感じることができました。

丸森町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

平成24年度から協働教育プラットフォーム事業委託を受け、教育基本方針に位置付けるとともに、これまで進めてきた学社連携・融合における事業等を協働の視点から再検討し、既存の組織や団体等と役割分担を図りながら事業を推進している。

子供たちの学習環境を整えるため、また地域住民が生涯にわたって学習を続けていくため、家庭・地域・学校が協働し教育環境を整え、「いつでも、どこでも、誰でも」学び続ける協働の社会を目指して事業の充実を図った。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定通り開催できなかった事業があった。

2 地域学校協働本部について

平成元年から丸森町生涯学習推進協議会を設置しており、当町における生涯学習に関する必要な事項について協議し、町民の自主的・主体的な生涯学習活動の推進を図っていることから、本協議会が地域学校協働に関する評価及び検証を行う組織として位置付けている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
家庭教育セミナー	丸森町子ども会育成会、丸森町PTA連合会と共催、家庭の教育力の低下、情報化に伴う様々な青少年問題などに対応するため、PTA会員をはじめ、大人を対象に家庭教育セミナーとして講演会を開催し、心豊かな子供たちの育成を図る。	※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催中止。
家庭教育支援講演会等事業	町内小中学校PTAと共催し、単位PTAで開催する家庭教育講演会を支援・推進し、保護者の学習活動の充実を図ることにより、家庭教育の向上を図る。 【大内小学校父母教師会（PTA）】 テーマ：「もっと知りたい ふるさと・大内」 講師：鈴木 悦郎 氏	各単位PTAと共催
セカンドブック事業	小学校新入学児童への本の提供事業。本を読む楽しさを感じてもらい、将来的な読書活動を促す。また、保護者に読み聞かせをする機会をもってもらうことによって読書の大切さを感じてもらおう。 ・対象者 町内の小学1年生 85名	
丸森町読書感想文大賞	子どもや若者が本に親しむ機会を提供し、読書の楽しさやすばらしさを体験させ、読書の習慣化を支援。 『読書大好き♥感想文大賞～あなたの感動を伝えよう～』 ・応募作品点数 ①小学生の部 54点 ②中学生の部 6点 ③一般の部 4点	表彰式当日、「森の図書館」を開催し、出席者が選んだ本をプレゼントした。

読み聞かせ活動の推進	<p>子どもの成長・発達を促す読み聞かせ活動の定着化を目指し、こども園・保育所等との連携を図りながら、読み聞かせ講座を開催し、家庭における読み聞かせ活動を推進する。</p> <p>また、将来親となる子供たちに、読書のすばらしさ、読み聞かせ活動の大切さを伝え、読み聞かせ活動をさらに推進するため、中・高校生を対象とした読み聞かせボランティア講座を社会福祉協議会との連携により開催する。</p> <p>【丸森たんぼぼこども園】 講師：尾形 陽子 氏 (子ども読書コミュニティプロジェクトみやぎ事務局長) 対象者：保護者20名程度</p>	読み聞かせボランティア講座については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催中止。
子育て支援ボランティアの支援	社会福祉協議会と連携・協力し、情報提供等による支援。	



【家庭教育講演会 / 丸森町読書感想文大賞表彰式 / 森の図書館】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
出前講座による地域学習活動支援	<p>地域の学習要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、地域における学習活動を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ，レクリエーション ・丸森町の歴史，伝説，昔話 ・生活に関する講話（ゴミの分別等） ・健康講話（各種疾病の予防，栄養講話等） など 	
ジュニア・リーダーの養成	<p>子ども会の年少指導者であるジュニア・リーダーを養成し、ボランティアや地域活動を推進するため指導及び支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級研修会の開催 ・山の子キャンプ活動の指導，支援 ・定例会活動の指導，支援 ・ボランティア活動の推進 ・子ども会や地域行事への派遣 など 	丸森町子ども会育成会と連携



【出前講座（ニュースポーツ / 昔話 / 健康講話）】



【ジュニア・リーダー活動（初級研修会 / 山の子キャンプ / 派遣事業）】

（3）学校教育支援

事業名	内 容	備 考
出前講座による 学校教育支援	<p>学校からの要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、様々な学習活動等を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流活動（ニュースポーツ） ・創作活動（草木染め、まゆ細工教室、料理教室）など 	
学校教育支援事業	<p>学校・行政協働により学校教育活動を推進するため、町内小中学校において計画・実施される学校教育活動を教育委員会と連携して支援。</p> <p>【耕野小学校】 テーマ：「いのちを守るために ～東日本大震災から学ぶ～」 講 師：元宮城教育大学 防災教育研修機構特任教授 千田 康則 氏</p> <p>【筆甫小学校】 テーマ：「『旅太鼓』コンサート（鑑賞の部）」 講 師：丸森和太鼓集団『旅太鼓』</p> <p>【大張小学校】 テーマ：「職業人による講話会」※2回開催 講 師：義高 光 氏 ， 佐藤 靖 氏</p> <p>【金山小学校】 テーマ：「わら細工を学ぼう」 講 師：菊地 成孝 氏</p>	小中学校と連携




【出前講座（ニュースポーツ / 草木染め / ヤーコン料理）】



【学校教育支援事業（防災講話 / 『旅太鼓』コンサート / 職業人による講話）】

（４）放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	<p>放課後に学校の余裕教室等を活用し、地域の方の参画を得ながら、子どもの安全安心な活動場所を提供するとともに、体験活動や地域の方との交流活動を推進。</p> <p>【筆甫小学校放課後子ども教室「ころたけクラブ」】 学校就業日、午後4時～午後6時実施</p> <p>【耕野小学校放課後子ども教室「筆っ子クラブ」】 学校就業日、午後4時～午後6時実施</p>	<p>令和3年度で終了</p> <p>【放課後子ども教室の様子（ころたけタイム）】</p> 

4 成果と課題

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できない事業もあったが、これまで培ってきた学校・家庭・地域の連携・協力体制のもと、感染症対策を講じたうえで事業を実施した。
- ・地域人材を積極的に活用した『学校教育支援事業』や『出前講座』が学校や地域活動の場にも定着してきており、受講者だけでなく講師として派遣された地域の方々も地域の子供たちの学習等に関われることに生きがいを感じていることから、相互作用による学習意欲の向上が図られている。引き続き、活動に携わる地域住民や地域連携担当と意見を共有しながら、より良い事業のあり方を模索し進めていきたい。
- ・家庭教育に関しても、PTAの教育活動を支援する家庭教育支援講演会事業を行っており、地域の人材を活用した相互作用による学習意欲の向上が図られている。家庭は、子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点であることから、子育てや家庭教育を支える地域環境の変化に合わせた対応が求められているが、少子化により対象者が減少していることや、特定のボランティアに頼った活動が多いため、支援体制の充実と新たな人材の発掘が課題となっている。
- ・小学校が8校から2校に再編されるなど、少子化に伴いジュニア・リーダーを志す子供たちの減少も著しい。派遣事業やこれまで培ってきた技術の伝承が課題となっている。様々な体験活動を通し、人との繋がりを育む活動の場に子供たちが興味や関心を持てるように、学校・家庭・地域との連携を今まで以上に強めながら活動の場を多く提供していきたい。同様に、学校を支える各種団体の高齢化による後継者不足も課題である。

〒981-2402 下郷川原1-1
 丸森町立金山小学校
 電話 0224-78-1618
 FAX 0224-78-1621
 児童数 23名 P会員数 17名

丸森町立金山小学校

一人一人が自己ペースを目指し輝く子ども

地区民大運動会	花壇の苗植え	もりもりクラブ	だんごさし
			

66 回編みだした「金山地区民大運動会」、地区民の方々に、学校の様子や日頃の学習の成果を、見ていただく良い機会になっています。*参加していただく方は必ずお申し込みをお願いします。

春と秋に行う「花壇の苗植え」、地区民の方々に教えていただいた花壇から、毎年育ててきた花壇が溢れています。地域の方々の楽しい交流になっていきます。

主に第3学年の総合的な学習の時間で、地域の御高齢の方々と交流事業（もりもりクラブ）を実施し、地域の福祉施設と連携しながら行っています。

第1学年と第2学年では、児童保護女性会のお手伝いをいただきながら、地域の広域行事である「だんごさし」体験を行っています。

令和3年度
 丸森町立大内小学校
 〒981-2501 伊具郡丸森町大内字橋手1-8
 TEL 0224-79-2011 FAX 0224-79-2014
 児童数 47名
 P会員数 36名

丸森町立大内小学校

学校教育目標 『心身ともに健康で、よく学ぶ、たくましい児童を育成する』

地域と連携した教育（協働教育）活動

			
--	---	---	---

「地域の体験」
 地蔵保存会の方にご依頼いただき、コースターを制作しました。

「民謡（新相馬節）体験」
 地域の民謡を教えるだけでなく、全学年で学習しました。

「ヤーコン船店」
 地蔵のつくりかたを学ぶだけでなく、料理も体験しました。

「フラワーバトン」
 高校生にバトンのつくりかたを教えるだけでなく、地域の福祉施設と連携しました。

丸森町立丸森小学校

〒981-2166
 伊具郡丸森町
 字敷川内3-9番地1
 電話 0224-72-2140
 FAX 0224-72-2164
 児童数 171名
 P会員数 123名

校章

＜教育目標＞
 やさしく かしく たくましく
 ～ヒマヤヤのようにはげ強く未来へ～
 一人一人の笑顔が輝く学校
 ～つなぐ未来、つなぐ希望～
 地域、児童の笑顔が溢れるまなざし、心を「心・体・性」の調和のとれた人財を育て、たくましく児童の育ちに努める。
 力強くそびえる杉木
 （ヒマヤヤ杉）

「ざつと習語の会」での語り部からの学び
 語り部を招いての「習語の会」では、古くから伝わる言葉を、地域の文化に生かすことで、地域の文化に生かされています。

農業関係者の指導による実作り活動
 農家の方々、Aの方々、伊具高校の生徒さんなど、地域の方々のご指導のもと、5年生が実作りを体験しています。

丸森手習利紙による卒業証書づくり
 6年生が一枚一枚丹精込めて紙を作る、自分で書いた紙で卒業証書を作成しています。丸森利紙の伝統に輝ける活動です。

米づくり活動
 子ども会育成会と共同で米づくりの活動に取り組んでいます。

無骨健康祭りの（運動会）
 地区の人と一緒に協力したり、対抗したり、交流を楽しみます。

手の細工体験
 卒業生はコースター、在校生は千変の置物を作ります。

ハズ大根づくり
 大根を育て、地区の特産品の「ハズ大根」づくりに挑戦します。

丸森町立筆筒小学校

〒981-2201
 宮城県伊具郡丸森町筆筒6-2
 電話 0224-78-2141
 FAX 0224-78-2128
 児童数 9名
 P会員数 7名

夢に向かって、主体に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成

～地域に学び、人に学ぶ～

米づくり活動
 子ども会育成会と共同で米づくりの活動に取り組んでいます。

無骨健康祭りの（運動会）
 地区の人と一緒に協力したり、対抗したり、交流を楽しみます。

手の細工体験
 卒業生はコースター、在校生は千変の置物を作ります。

ハズ大根づくり
 大根を育て、地区の特産品の「ハズ大根」づくりに挑戦します。

丸森町立小斎小学校

〒981-2401 宮城県伊具郡丸森町小斎字古館95番地
電話(0224)78-1515 FAX(0224)78-1562

児童数 29名
P.会員数 23名

ふるさと教育



ふるさと小斎の特色「日本一おいしい米作りの里」や地域の歴史・自然について、の関わりが、後継者のふるさと教育に役立っています。



小斎地区見学・歴史めぐり

心の教育



「LDDA（いつでもどこでも、だれにでも）や「思いやり教育」を通して、心と心を大切にする心を育て、人とのより良い関わりを目指して教育を行っています。

命を守る教育



下校時避難訓練



手洗い・うがい・消毒
避難訓練など防災に関する学習や、各学年の「命」や「思いやり教育」を大切にする心を育て、人とのより良い関わりを目指して教育を行っています。

丸森町立大張小学校

〒981-2302 宮城県伊具郡丸森町大張川通字田25
TEL 0224-78-2121 FAX 0224-75-2137

児童数 24名
P.会員数 18名

地域と連携した教育（協働教育）活動



【伊達石を使った体験活動】
地域資源の「伊達石」を使ってワークショップを行います。今回は「お皿」を作りました。

【まゆっこ活動】



「兼体縁」(シルク和紙作り)「茶巾縫い」を週して、市の専攻や大張地区の「よる」を学びます。

【大張のよさ伝え隊】



伊達石を素材として全国的に仕事をまわっている兼体縁のよさを学ぶ機会を設けています。



地域の方と農園活動



動作りから収穫まで一緒に活動

地域と合同運動会



地域の方と楽しく館矢間大運動会

地域のお寄り与交流



3年生が流石や普通遊びでおもてなし

丸森町立館矢間小学校

〒981-2102
宮城県伊具郡丸森町館矢間館山字玉川29-1
TEL 0224-72-2148 FAX 0224-72-2169
URL tate-sho@town.marumori.miyagi.jp
児童数 173人 PTA会員 126人

丸森町立耕野小学校

〒981-2303 宮城県伊具郡丸森町耕野字入大44-1
TEL 0224 (75) 2122 Fax 0224 (75) 2164

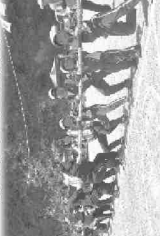
児童数 5名
親の会員数 4名

竹の子掘り



特産品の竹の子を素材に体験学習を実施し、ふるさとへのよさを伝える。

耕野小運動会



耕野地区民体教育との合同開催で地域の方々と触れ合い、交流を深める。

干し柿づくり



地域の方々の協力の下で、干し柿づくりや読書会を行い、絆のよさを深める。



丸森町立丸森中学校

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町町田青24番地2 生徒数 256名
TEL 0224-72-2145 FAX 0224-72-1516 P数員数 223名

模範議会



中学生の視点で、これからのまちづくり
についての意見を町に提言している。



プランターへの花植えを通して、伊具高
等学校と交流している。



ふるさと研修

ふるもりふるさと館や管理職数を訪問し、
郷土の歴史や先人について学習している。

仙南広域の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

視聴覚教材センター（あずなびあ）では、視聴覚教材・機材の整備・貸出、視聴覚教材の情報提供、圏域住民の学習ニーズに応じた学習活動の支援等を行っている。今年度は、コロナウイルス感染症の影響によるビデオ通話アプリ等の利用増加や、GIGAスクール構想実施による学校でのICT活用による課題やニーズに応えるための講座関係を充実させる方向で事業を行った。

仙南芸術文化センターでは世代を超えて、広く芸術文化に触れる機会を提供できるよう積極的に事業を展開した。

2 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
えぞ☆スタ 2021	例年「あずなびあまつり」として行っていた事業を、昨年度に引き続き規模を縮小してコロナウイルス対策を徹底し、事前予約制で実施した。 会場:仙南芸術文化センター, 大河原町総合体育館	対象:圏域住民 来場者 604名
えぞっこひろば	仙南芸術文化センター(えぞこホール)の住民創造グループの1つである託児ボランティア(えぞこキッズクラブ)が月1回開催。	対象:子育て中の親子



えぞ☆スタ 2021

えぞっこひろば

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業	圏域内の学校教育・社会教育関係団体向けに年間を通して、無料で教材・機材の貸出を行っている。	対象:圏域内学校教育及び社会教育関係団体
各種講座及び学習機会提供事業	学校教育及び社会教育において教育メディアを効果的に活用するため、各種講座を実施。	対象:圏域内住民
うるおいの圏民参加体験事業 (ワークショップ事業)	えぞこホールで、ゴスペルやダンス、演劇、照明・音響等幅広いジャンルを入門編としてわかりやすく、楽しい講座を展開している。	対象:講座に応じて



各種講座及び学習機会提供事業

ワークショップ事業

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	消防署やえぞこホールにおいて、職場体験を実施。	対象：圏域内中学生・高校生
うるおいの圏民参加体験事業 (アウトリーチ事業)	トップクラスのアーティストによるアウトリーチ事業。小学校等で学校の授業の一環として事業を展開。	対象：小・中学校



職場体験

アウトリーチ事業

(4) その他

事業名	内容	備考
人材育成事業 (AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業)	次代を担う子供たちと地域の文化を『はぐくむ』ことをテーマとし、高度な総合芸術である演劇を通して、将来の文化活動を担う人材育成を図る。	対象：圏域内小学 4～6年生
地域学習教材制作の促進と保存事業	地域学習に効果的な自作視聴覚教材制作の支援，利用促進を図る。	対象：圏域内住民

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 「えぞ☆スタ 2021」については、感染症対策のため予約制とし、人数制限や入れ替え制など感染症対策を行いつつ、昨年度より会場を広げて実施し、604名の来場者に楽しんでいただき、無事終了することができた。
- ・ 各種講座及び学習機会提供事業については、昨年度に引き続きコロナ禍の状況に合わせ、出前講座でのオンライン会議アプリ講座や、ネット配信支援を実施し、25回、延べ262名の方々にご参加いただいた。

(2) 課題

- ・ オンデマンドサービス等の普及に伴い、視聴覚教材センターの教材貸出の件数は今後減少していくと予想される。昨年度に引き続き、オンデマンドサービスではカバーできない地域の伝統行事や技術の記録・保存を兼ねた地域教材制作の支援や、GIGA スクール構想の実現に向けた ICT 環境に対応した教育内容を支援できる体制にしていく必要がある。